



令和元年 9 月 1 日現在	
世帯数	2,860 世帯
男	3,308 人
女	3,474 人
総人口	6,782 人

### 松島中学校 職場体験

#### 2日間の職場体験

貝梅 峻介

7月25日、26日の2日間、松島中学校では職場体験がありました。体験した感想を中学生の2人に書いてもらいました。

僕は「支留比亜珈琲」に行きました。僕がここを希望した理由はコーヒーに興味があつたからです。ここ



での職場体験で学んだことが3つありました。1つ目は、サービスです。笑顔で接客する、大きな声であいさつする、これらが大切だ、ということ学びました。2つ目は、お客様に注文品を提供する時の動作です。店員さんたちは普通にやっていますが実際にやってみたら難しかったです。水やサンドイッチを提供することを体験させてもらいましたが手が震えたりとても難しかったです。3つ目は、お金を稼ぐことです。両親がお金を稼ぐのに、どれだけ苦労をしているのかこの職場体験でわかりました。僕はこの職場体験で学んだことを、日常生活や将来に生かしたいです。

#### 職場体験に行つて

矢口 雅人

僕は、「堀米保育園」に行ってきました。僕は年長のクラスに入りました。体験をして感



じたことは、小さい子どもたちに保育士さんたちはいつも優しく接しているのかと思つていました。ときには、いけないことはいけない、と注意することもあるんだ、ということ。印象に残つたことはプールの清掃です。子どもたちのお昼寝の時間という短い間に丁寧に掃除をして子どもたちが次の日に気持ちよく使えるようにしていました。体験の2日目には保育園の夏祭りがあり、すごくにぎやかで楽しかったです。僕は、保育士さんがいろいろなところで工夫をこらしていることがわかりましたし、小さくても、注意して言い聞かせたりすることの大切さを学びました。僕は将来、子どもと関わる仕事をやってみたい、と思いました。

### 三角点「荒井」は大庭にある

大庭公民館の敷地の隅に4つの保護石で囲まれた花崗岩の杭があります。三角点表示杭が打たれていないので、それと知らない方もいることでしょう。そしてこの三等三角点の点名が「荒井」であることも。

国土地理院に交付申請し入手した「点の記(旧)」には三角点への順路が《島立村大字荒井村落ノ南方約二町ニシテ本点ニ達ス松本町ヨリ十町ナリ》と記載され、造標を明治39年

となり大庭に移転されました。「点の記(新)」には昭和63年11月18日に移転、自動車到達地点《松本ICより南南東約700mの大庭公民館前道路》と記載されています。三角点の標石は二つの部分からできており、地上に頭を出している柱石の下に盤石が埋めてあります。何らかの原因で柱石が無くなった場合、盤石が正常な状態で発見できれば、盤面と柱石(二等と三等は長さ79cm)に刻まれた十字を合致させて埋設することにより復旧(平面位置と標高)が可能です。

6月1日、観測を7月3日に行つたとあります。島立地区の県営圃場整備事業が昭和58年〜平成5年に行われましたが、狭い耕作道の傍らにあつた三角点は農地区画整理の支障

の記」とは三角点の戸籍又は案内図といったもので、測量年月日、三角点までの道順、案内図が記載され、旧「点の記」には付図はないものの道順や水や食料の確保、人夫の雇用状況など測量に役立つ情報が記載されている。(要約)

国土地理院のホームページに説明があります。一点

明治になり日本は近代国家の基本である国土の地形図を作るため陸軍陸地測量部により三角測量が行われましたが、その時設置されたうちの1点がこの三角点です。この測量については映画にもなった新田次郎著「剣岳(点の記)」に詳しく書かれてるので読んでみてはいかがでしょう。



▲三角点 (大庭公民館)

点の記 (旧)

点名	等級	緯度	経度	標高	備考
荒井	三等	35°45'10.00"	138°52'10.00"	110.00	
...	...	...	...	...	...



▲移転する前の三角点位置 昭和45年(1970年)8月測図の松本都市圏都市計画図22(部分)

点の記 (新)

点名	等級	緯度	経度	標高	備考
荒井	三等	35°45'10.00"	138°52'10.00"	110.00	
...	...	...	...	...	...

▲点の記 (新)

# 堀米裸まつり

堀米の伝統行事である、「津島牛頭天王社の裸まつり」が7月の第一日曜日の7日午後、行われました。もともとは、農休みの7月1日に行われたものですが、最近では休日に行われるように変わりました。長野県無形民俗文化財にも指定されているこのお祭りはふんどし姿の子どもたちが「親玉」と呼ばれる年長者の指揮のもと、津島神社に参拜の後、大旗・中旗・五色の旗をかついで「オンヤーサー」の掛け声に呼応して「モンヤーサー」と掛け声を掛けながら2班に分かれて村境を勇ましく巡ります。村の中へ疫病を入れないようにする防塞(ぼくさい)行為とともに津島様のご利益が村中に行き渡るように…という意味を持つ伝統行事です。この日も「裸まつり実行委員会」の組織のもとに行われ、伝統の継承に努めていました。これからも、時代の変化はあっても、末永く伝統が守られて行くことを願います。



# ぼんぼん・青山様学習会

ぼんぼん・青山様についての学習会が、7月22日(月)、島立公民館において開かれました。同行事の伝承保存会会長、秋山泰則さんを講師に迎え、約20名の参加者が、熱心に歴史や意味を学びました。ぼんぼんは、およそ450年から500年ほど前に京都で始まり、その後全国に広まり、松本へは、江戸中期頃に伝わり今日に至っているそうです。青山様は祖先の霊を祀る行事といわれていますが、来歴については確かなものは見つかっていないということです。現在、昔ながらのやり方で行事として残っているのは、両方とも松本だけだそうです。

秋山さんは、少子化や価値観の変化などで、伝統行事の継承が困難になってきた現状を憂え、これらを絶やしてはならないとの思いから、昭和62年「ぼんぼん・青山様伝承保存会」を発足させました。以来32年間にわたる地道な活動を通して夏の風物詩を守ってきました。松本だけで行われているというこれらの貴重な伝統行事を、これからも、皆で後世に伝えていきたいものです。



# キャッシュレス講座



7月24日(水) 島立公民館で八十二銀行の二銀行の方を講師に迎え「お買いものはキャッシュレス決済がおトク？」講座を行いました。日本のキャッシュレス事情や、消費者還元事業について何？どんな手段があるの？(ぎんこう)について使っ

の？など、様々な疑問に対応した内容でした。現金を持ち歩くリスクの軽減や、ポイントの還元、ATMの利用が不要になるなどプラスの面がある一方、不正使用や携帯やカードを落としさら…など心配な一面も持ち合わせています。〇〇Payが沢山使われる時代になりましたが、ご自身に合った使い方を見つけて、少しお得に暮らせるようにしたいですね。

# デジタルカメラ講座に参加して

種山 岳彦



7月15日(月) 島立公民館主催の第2回デジタルカメラ講座が開催されました。講師は長野県風景写真家協会の原和明さんで、参加者は14名でした。まずは、万治の石仏で「よろずおさまりますように」と今日の天候の回復を念じながら撮影しました。

シャッターチャンス！なかなかこの場を離れることが出来ませんでした(笑) 最後に八島湿原での撮影で、手前の草にピントを合わせると良い写真になる、などいつもの写真がグレードアップする技を教えてくださいました。事故もなく、楽しいデジタルカメラ講座になりました。講師の原さん、ありがとうございます。

続いて、霧ヶ峰でニッコウキスゲの撮影。到着した時は霧で真っ白でしたが、途中から霧が晴れて来て、目の前に広がるニッコウキスゲの群生にテンションも上がりました！池のくろみ踊場湿原では山から霧が流れ降りて来る写真を撮影にチャレンジです。帰り際に素晴らしい霧が降りて来て

